

小論文

●社会環境学部 (社会環境学科)

(専願制)
(併願制)

(解答：62ページ)

この科目には解説動画があります。



次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

(設問の都合上、本文や図の一部を省略・改変した。)

また、農村のまちづくりでしばしば大きな役割を果たすのが、よそ者です。農村では先祖代々住み続けている人が多いために、都市と比べて人と人とのつながりが強い一方で、地域外の人たちにとっては近寄りたいたいところもあります。したがって、農村では地域外の人びとのことを、よそ者と呼ぶことがあります。

しかし、過疎化が進む中で、農村に住んでいる人口、つまり定住人口は少なくなっており、このことから農村のまちづくりでは、よそ者も重要な存在になってきています。たとえば、これまでの農村のまちづくりでは、都市の住民に観光客として農村を訪れてもらい、農業体験、地元食材を使った料理、そして古民家などでの宿泊を通して、地元住民と交流することが中心でした。このように、一時的に地域外から観光客としてやってくる人たちのことを交流人口といいますが、それを増やすことが農村のまちづくりにおいて大きな目的となってきたのです。

こうした交流人口からさらに進んで、一度訪れて気に入った農村へ都市から移住・定住し、定住先の地域の人びとと一緒にまちづくりに取り組む若者たちが、とくに東日本大震災以降に増えています。こうした現象は、農村回帰と呼ばれます。国もこうした動きを後押しするために、地域おこし協力隊という制度を2009年につくりました。この制度を利用して、2017年では約5000名が全国各地の農村に滞在しています。

さらに、定住人口や交流人口のどちらでもない、関係人口が最近になって注目されはじめています。関係人口とは、その地域に住んでいなくても、まちづくりに継続的にかかわる人びとのことです。たとえば、今は都市に住んでいるけれども、実家や祖父母の家が農村にある人や、一度訪れた農村が気に入ってたびたび訪れてくる人も、この関係人口に含まれます。ポイントは、図に見られるように、定住人口や交流人口と比べて、いろいろな人が多様な形で農村にかかわっていることです。このことは、第5章のコモنزの再生で紹介する、「開かれた地域主義」や「かわり主義」にも通じるものです。そして、こうした関係人口の存在が、農村の人びとが自分たちの地域やまちづくりを見直す、新たなきっかけになっていることが注目されます。

(中略)

最後に、都市と農村との関係について、改めて考えてみましょう。都市で生活していると、農村を意識することはあまりないかもしれません。しかし、東日本大震災によって、普段はあまり意識することのなかった「都市が農村に依存している」ことを、実感した人もいたのではないのでしょうか。エネルギー、水、食料など、都市は自らの生活を維持していくうえで必要なもの多くを、農村に依存してきたのです。

一方の農村は、もともと人口や企業数が少なく、税収も多くはないので、国や道府県からの補助金などの配分に頼っているのが現状です。また、農家は都市の住民に農作物を購入してもらうことで収入を得ています。このように考えると、都市は農村に対して自然や資源の側面で、他方で農村は都市に対して経済や財政の側面で、それぞれ依存していることがわかります。つまり、都市と農村は互いを頼りにしており、強い相互依存の関係にあるのです。

したがって、農村が持続可能であるかどうかは、都市も含めた問題として受け止めなければなりません。農村における地方財政の多くは地方交付税交付金によって成り立っていますが、豊かな税収がある都市から、税収の乏しい農村へのこうした「住送り」は、都市と農村との相互依存の関係の表れであるといえます。

都市と農村の共生は、こうした財政だけでなく、市場を通して実現できます。たとえば、都市においてもよく見かける産直市は、もともと産地直結という意味なのですが、生産者と消費者との間での「顔の見える関係」を大切にするものの1つです。

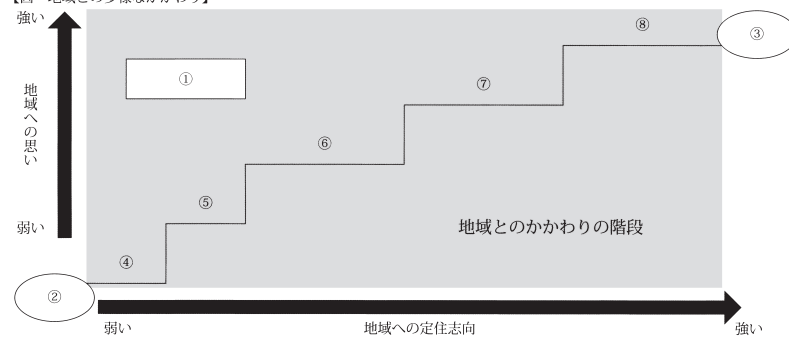
また、都市の住民が農村でのイベントを企画したり、ボランティアとして農村のまちづくりにかかわったりすることを例とした、関係人口による新たな動きも注目されます。この動きは、以上のような財政や市場を通した関係とも違った、都市と農村の共生を形づくるものとしてとらえることができます。

(八木信一・関耕平『地域から考える環境と経済』有斐閣、2019年)

【問題】 次の問1から問3に答えなさい。

問1 都市と農村のかかわりをまとめた以下の図を見て、それぞれの空欄①～⑧に入る最も適切な言葉を語群から選びそれぞれ記号で答えなさい。

【図】 地域との多様なかかわり



出所：田中 [2017] より一部修正

【語群】

- ア 関係人口
- イ 定住人口
- ウ 交流人口
- エ 寄付
- オ 頻繁な訪問
- カ 二地域居住
- キ 特産品の購入
- ク 現地でのボランティア活動

問2 本文における「関係人口」という考え方について要約しなさい (200字)。

問3 都市と農村のかかわりは、今後どうなっていくと考えられますか、自分の考えを述べなさい (300字)。